

平成27年度 QCサークル山形地区主催

## 第270回 小集団改善活動研修会 実施報告書

過日実施致しました研修会の概要を下記にご報告致します。

■ 日 時 平成27年 6月 19日 (金) 8:30~17:00

■ 場 所 協同の杜 JA研修所 第二研修室  
(山形市東古館123番地)

■ 参加者 10社、29名 (幹事:10名) 総参加者数:39名

### ■ プログラム

開催日	時 間	内 容	担 当
6月19日 (金)	8:00 ~ 8:30	受 付	事務局
	8:30 ~ 8:40	開会の挨拶	加藤世話人
		オリエンテーション	佐藤幹事
	8:40 ~ 9:40	【講義 I】 ①QCストーリー ②問題解決型	佐藤幹事
	9:40 ~ 10:30	【講義 II】 ばらつきの見方とグラフ化	石原副幹事長
	10:30 ~ 10:45	休 憩	
	10:45 ~ 15:45	【演習】 「積み重ねゲームでの データ収集などの演習」	村石幹事長
	(12:00~12:45)	昼食・休憩	
	(14:30~14:45)	休 憩	
	15:45 ~ 16:15	発表・コメント・指導	各Grの担当幹事
	16:15 ~ 16:45	自サークル活動の困りごと相談	各幹事
	16:45 ~ 17:00	アンケート記入/回収・まとめ	事務局
17:00	閉会の挨拶	稲葉世話人	

参加企業：10社（29名）

No.	会社・事業所名	所在地	会員区分	参加人数		
				計	男性	女性
1	SWS東日本株式会社	南陽市池黒1182	一般	5	(2)	(3)
2	株式会社コヤマ	村山市大字大久保甲1260	一般	2	(2)	
3	株式会社山形共和電業	東根市大字東根甲7057-24	賛助	3	(2)	(1)
4	スリーエムジャパンプロダクツ株式会社 山形事業所	東根市大字若木5500	賛助	7	(7)	
5	株式会社大坂屋	山形市青田5-1-7	一般	4	(4)	
6	有限会社畑田鐵工所	鶴岡市下清水字内田元72-40	賛助	1	(1)	
7	コバレントマテリアル株式会社	西置賜郡小国町大字小国町378	賛助	3	(3)	
8	株式会社伊藤製作所	山形市南栄町1-5-16	工業会	1	(1)	
9	新庄エレメックス株式会社	新庄市福田711-36	賛助	2	(1)	(1)
10	エムテックスマツムラ株式会社	尾花沢市北町2-2-2	賛助	1	(1)	
合計				29	(24)	(5)

▼開会の挨拶（加藤世話人より）



▼講義Ⅰ：①QCストーリー、②問題解決型



▼講義Ⅱ：ばらつきの見方とグラフ化



▼演習：「積み重ねゲーム」を通したQCストーリーの勉強



▼演習：「積み重ねゲーム」で目標を達成するには



## ▼演習：「積み重ねゲーム」で目標を達成するには



## ▼演習：「積み重ねゲーム」で目標を達成するには・・・グループの成果発表



■参加者：29名（アンケート回収率100%）

## 1. 講義Ⅰ：「①QCストーリー ②問題解決型」について

<p>【ご意見・ご感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ QCストーリー及び「問題解決型」と「課題達成型」の違いが理解できた。今後自サークルでもうまく活用したいと思う。(同意見：3件)</li> <li>○ 何度も本では読んでいたが、今回が最も解かったと思った。是非自サークルで活用していきたい。(同意見：2件)</li> <li>○ 現場に持ち帰り、今回の資料を活用し、役立てていきたいと思う。(同意見：2件)</li> <li>○ わかり易く説明してもらった。自サークルに展開できるようにしたい。(同意見：2件)</li> <li>○ 問題解決型についての進め方がよくわかった。</li> <li>○ いつも使っているQC手法の理解が深まった。</li> <li>● 「問題解決型」はQC活動でよく使用する手法だったので、「課題達成型」についてもよく話を聞きたかった。QCストーリーの展開方法、進め方としては、「課題達成型」に難しさを感じている。</li> <li>● QC初心者なので、テーマを1つに絞ってゆっくり説明して欲しかった。</li> <li>● もう少し時間をかけて説明して欲しかった。</li> <li>● もう少し自分なりに理解してから自サークルに展開したい。</li> <li>● 今回初めて施策実行型という言葉聞き、どの様なストーリーなのか教えてもらいたかった。</li> </ul>	<p>理解できたが自サークルへの展開は難しい 31%</p> <p>【講義Ⅰ】理解度</p> <p>69% 違いが解り自サークルに展開できる</p>
--	--

## 2. 講義Ⅱ：「ばらつきの見方とグラフ化」について

<p>【ご意見・ご感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ データのばらつき、又はデータの平均だけを見ていたが、改めて標準偏差の大切さを知った。(同意見：3件)</li> <li>○ 現場の分析データで活用していきたい。(同意見：2件)</li> <li>○ ばらつきを標準偏差でみて管理してみたいと思った。(同意見：2件)</li> <li>○ 標準偏差の計算方法がわかって良かった。</li> <li>○ 初めは理解できなかったが、演習を通じて理解が進み、今後の活動に活かしていきたい。</li> <li>○ 具体的な演習と組み合わせれば自サークルへよく展開できそうだ。</li> <li>○ 初めてだったが、とても参考になった。</li> <li>○ いろいろなグラフや資料などを使用して、自サークルに活用していきたい。</li> <li>○ 言葉としては何十年前前から知っており勉強したつもりだが、今回は本当に理解できたと思う。</li> <li>● ばらつきの見方や標準偏差の求め方（計算方法）はわかったが、QCサークル活動で、どのように活用すれば良いのか理解できなかった。(同意見：3件)</li> <li>● 専門的な用語や数式、記号がたくさんあり、少し難しかった。(同意見：3件)</li> <li>● 時間が足りなかったため解かりにくかった。(同意見：2件)</li> <li>● 製造業だが同一製品はほとんど製作しない（製品1つ1つ寸法や形状が全く違う）ため、グラフ化するのは難しいと思った。</li> <li>● 時間があれば、グラフの書き方等の学習もあればよかった。</li> <li>● とても難しかった。計算方法は演習で使うので今日は使用したが、今後はPC上で計算すると思う。どちらかという、標準偏差の見方、使い方を優先して欲しかった。</li> </ul>	<p>理解できたが自サークルへの展開は難しい 59%</p> <p>【講義Ⅱ】理解度</p> <p>7% 違いが理解できなかった</p> <p>34% 良く解り自サークルに展開できる</p>
---	---

## 3. 演習：「積み重ねゲームでのデータ収集などの演習」について

<p>【ご意見・ご感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ QCストーリーに沿って行ったため、流れがよく理解できた。(同意見：3件)</li> <li>○ 他社の方の考え方や、違いがわかってよかった。(同意見：2件)</li> <li>○ 自サークルでも同様に演習したいと思う。(同意見：2件)</li> <li>○ 各自いろいろな意見が活発にでて、グループ討議が面白く、最良のコミュニケーション活動になった。(同意見：3件)</li> <li>○ 特性要因図が苦手だったが、理解することができた。(同意見：3件)</li> <li>○ 実際にやってみて、データを計算することでよくわかった。</li> <li>○ リーダーの難しさがわかった。</li> <li>○ 問題点が抽出しやすくてよかった。また、要因分析の大切さがよく理解できた。(同意見：2件)</li> <li>○ 対策も備品（輪ゴム、厚紙）があり、ヒントがあったので、やり易かった。</li> <li>○ 使い方がまだよくわからなかったので、活用方法を学ぶ必要があると感じた。</li> <li>○ グループディスカッションでは作業分担の大切さを痛感した。</li> <li>○ どうすれば会社がよくなるか、常に考えていかなければならないと思った。</li> <li>○ 研修前は曖昧なデータ収集をしていたが、今後は標準偏差のデータを活用していく。</li> <li>○ 積み重ねゲームの事例が非常に楽しく実施できた。同じ様に会社でもゲーム感覚で勉強しながらの活動をする、サークル員も楽しみながらできる様になると思った。</li> <li>○ 演習を通じて、ばらつきの見方や標準偏差の求め方（計算方法）がわかり、数値がどのような意味があり、その数値をどのように改善することが良いのか理解できた。(同意見：3件)</li> <li>○ 要因の絞り込みが甘く、対策立案、対策実施がスムーズにいかなかった。要因の検証が大切で、職場の活動の際は気をつけたいと思う。(同意見：2件)</li> <li>● 対策案に対する制約事項をもっと明確にして欲しかった。</li> </ul>	<p>理解できたが自サークルへの展開は難しい 38%</p> <p>【演習】理解度</p> <p>良く解り自サークルに展開できる 62%</p>
--	--

## 4. 研修全体について、その他要望事項

<p>【ご意見・ご感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積み重ねゲームでわかりやすく学習でき、QCストーリーの理解が深まった。自社に展開できるようにしたい。(同意見：7件)</li> <li>○ (会社から強制参加の形で参加したため、あまり気分がのらなかったが) 他社の人達とコミュニケーションがとれ、会社によって考え方や進め方など違う点が勉強できたので参加してよかった。(同意見：5件)</li> <li>○ 他社の人との交流もでき、積み重ねゲームの演習が有意義だった。(同意見：3件)</li> <li>○ 会社での小集団改善活動にうまく活用していきたい。(同意見：2件)</li> <li>○ 機会があれば別の研修会にも参加したい。(同意見：2件)</li> <li>○ 基本知識から始まり、グループ演習でQCの進め方を理解する楽しみがわかった。</li> <li>○ 標準偏差について、学びを深めることができた。</li> <li>● 「要因分析」と「要因分析の検証」、「対策立案」の違いがよくわからなかった(要因解析に基づいて対策立案するものだと理解していた)。</li> <li>● 標準偏差が難しかった。</li> <li>● 課題達成型のQCストーリーについても学びたかった。</li> <li>● QCストーリーのまとめ方等の講習があればよいと思った。</li> <li>● 社内でQCサークル発表会を行い、また地方大会、全国大会にも見学に行くが、現状把握をきちんとしているように思える。現状把握の方法、アプローチ、そして要因解析について学びたい。</li> <li>● グループディスカッションでの時間が少なく、最後の発表資料まとめにバタバタしてしまった。</li> <li>● 休憩時間をきちんと取って欲しい。</li> </ul>	<p>だいたい理解できた 62%</p> <p>【研修全体】</p> <p>大変良く理解できた 38%</p>
---	---